

事務事業名 雲南ブランド化プロジェクト・都市間交流促進事業(次世代を担う若い人材育成事業)		所属部 政策企画部	所属課 政策推進課
総 計 画 体 系	政策名 (VI) 推進計画・地域経営によるまちづくりの推進	所属G 雲南ブランド推進G	課長名 熱田勇二
	施策名 (39) 計画的なまちづくり	担当者名 鳥谷健二	電話番号 0854-40-1011 (内線) 3512
	目的 対 象 施策 意図 計画的に目標を達成する。	予算科目 会計 款 大事業 大事業 0 1 1 0 0 1 事業名 項 目 中事業 中事業 0 5 3 5 1 0 事業名	企画総務管理事業
	基本事業名 (117) 横断的プロジェクトの進行管理 目的 対 象 各部局にまたがる事業 意図 計画的に事業を推進する。		中山間地域活性化支援事業

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (19 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
起業プランや地域活性化プランの実現を目指す若者を掘り起こし、そのプランを実現するための企画・実践をサポートするための幸雲南塾を開催(6月から月1回)。塾生は市内と市外を半々とし、塾の実施による広域的な人材ネットワークを構築する。

(2) 事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動					
	25年度実績(25年度に行った主な活動) ・ふるさと財団事業への申請、委託業務契約等 ・塾運営	26年度計画(26年度に計画する主な活動) ・委託業務契約等 ・塾運営				
	② 活動指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	ア 塾の開催回数	回	6	6	6	6
	イ 塾生(修了証授与者)	人数	13	11	11	25
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	社会起業家や地域貢献を志す若い人材	ア 塾生(修了証授与者)	人数	13	11	11	25
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	
雲南市のまちづくりに貢献してもらう	ア 雲南市のまちづくりに関わっている塾修了生の数	人	13	11	11	25	
	イ 塾終了生の自主企画事業の実施回数	回	0	2	5	10	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)	
・報償費 636千円(謝礼、記念品等) ・旅費 102千円 ・需用費 145千円(消耗品、チラシ印刷) ・役務費 52千円(動画製作手数料) ・委託費 3,225千円(塾運営、マネージャー業務) ・使用料及び賃借料 240千円(バス代) 合計 4,400千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円	951	1,176		
	事業費	地方債	千円				
		その他	千円	951	1,216	4,400	2,000
		一般財源	千円				
		事業費計(A)	千円	1,902	2,392	4,400	2,000
	人件費	正規職員従事人数	人	3	2	2	
延べ業務時間		時間	1,285	1,200	1,200		
人件費計(B)		千円	5,065	4,702	4,672		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	6,967	7,094	9,072		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
同世代の若手講師による塾運営により塾生への影響が大きかった。当初は市外からの反応の方が大きかったが、徐々に認知度が高まり、市内の若い世代へも浸透しつつある。	塾の活動拠点の確保、修了生のフォロー体制の構築を進めている。	本事業に対し関心を持つ市民が増えている。市議会からも若い世代の人材育成に関して積極的に取り組むべきとの意見を頂いている。

事務事業名	雲南ブランド化プロジェクト・都市間交流促進事業(次世代を担う若い人材育成事業)	所属部	政策企画部	所属課	政策推進課
-------	---	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	塾修了生による新たなまちづくり団体も誕生し、志のある若者のネットワークも市内外に広がってきた。今後は、こうした若者の活動を、具体的な地域課題の解決につなげていく必要がある。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	H23年度から始まった事業であり、今後の発展が期待できる。廃止となった場合はネットワークが途切れ、交流人口の減少やまちづくりに影響がある。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	類似事業はないため統廃合等はできないが、他の交流事業などと有機的に連携することは考えられる。		
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	将来的には塾運営を市内組織で行うことや、県内の講師を中心に構成するなど経費削減の余地はある。		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	委託内容の見直しや、本事業を自立的な組織により運営を図ることで行政関与を削減する検討を行う。		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	塾生を中心にした取り組みであるが、講義は公開しており、誰でも参加できるため、公平・公正である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	塾自体は対外的にも評価され順調に運営できている。また、活動拠点も設け、塾修了生による新たなまちづくり団体も誕生するなど、市内外に若者のネットワークが広がってきた。今後は、塾修了生による運営体制の構築、塾生の活動がより具体的な地域課題の解決へと結びつくようにサポートを進めていく必要がある。		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携																					
<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)																					
<p>社会起業や地域貢献を志す若者のチャレンジを、地域自主組織や市内事業所の具体的な課題解決へと結び付けていくプログラムとしてリニューアルする。</p> <p>また、塾の運営体制についても、塾修了生で結成したまちづくり団体(NPO法人)へ委託し、自主運営ができる体制を整えていく。</p> <p>さらに、多様な人材や活動をつなぎ、地域課題とのマッチングや資金調達等を支援する中間支援組織を育成・支援し、地域課題解決に向けた若者のチャレンジを生み出していく。</p>																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	●																						
	維持			×																				
	低下		×	×																				
<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																								